



広野町と童謡

山田基星町長 × 眞理ヨシコ広野童謡夢大使

「広野町と童謡」をテーマに山田町長、眞理童謡大使に自由に語っていただきました。対談は童謡の魅力や広野の自然、教育に及びました。

(司会・根本企画グループリーダー)
司会 はじめに眞理大使と音楽とのつながりについてお聞きしたいと思います。歌手になられたきっかけをお聞かせください。

大使 私の両親も音楽が好きで、特に母がクラシックの歌い手になりたくて音楽学校へ行きたいと思っていた人なんです。でも、なかなかそれが許されなかったものですから娘が生まれたら音楽の学校へ行かせたいとずっと思っていたんですけどうね。だから小さいころからたくさんの歌を教えられました。小学校のころにNHKのラジオに出たりという年もあって、でも、きちんと歌える歌い手さんになるためにはしっかりと勉強をしなければなりません。それで小学校の終わりころからクラシックの音楽学校に行くように進路が決まりました。そんなふうに育ちました。

その後、中学は公立に通い、高校は都立の高校に進学しました。その高校は1クラスだけ音楽学校に進学することを目的にしたクラスがあり、学区制がなかったものですから高校の時すでに九州の方とか、四国の方とか、いっしょに勉強をし、そして、音楽学校に当然のように入りました。

音楽学校でクラシックの中で私はオペラをやりたいかったんだけど、私のこれぐらいの体ではやっぱり、声量も足りないし、とてもオペラは無理だなということになったんです。もう少し違うことをやりたいなと思って、シャンソンを勉強したり、それからミュージカルを勉強したり。そんな中でシャンソンを※1深緑夏代さんのところへ勉強に行っていました。また、NHKのオーディションなんか受けたりして、そんな頃に新しく子どもの番組を作るので、その番組のオーディションを受けてみませんかという誘いをいただいたんです。今まで、うたのおばさんっていうのはラジオであっただけですけど昭和35年くらいになりますとテレビがものすごく普及したんですね。そういう中でテレビで子どもの歌を歌う人、歌う番組というのがつくりたいと。そのオーディションを大々的にしたんですね。それを受けて私はうれしいことに合格しました。学校に通っている大学生でしたけど、他の仕事は出来ないうすけどこの仕事だけはという許しを学校からいただきました。テレビのうたのおねえさんになりました。それが結局、いつの間にか今年

童謡「作詩・作曲コンクール」 最終選考

審査委員長 眞理ヨシコ(歌手・広野童謡大使)
 審査員 伊藤 幹翁(作曲家・日本童謡協会常任理事)
 山田 基星(広野町長)
 木谷 孝幸(童謡のまちづくり実行委員長)
 音楽祭参加団体・一般入場者 50名

入賞作品発表

ピアノ/上 雅子

- ①「おとうさん」
 作詩・作曲/鳴澤 純佳(茨城県守谷市)
 編曲/佐藤 巨弘
 歌唱/西山 琴恵
- ②「ほら みてごらん」
 作詩/香月シズヨ(長野県長和町)
 作曲/香月 修(東京都港区)
 歌唱/稲村なおこ
- ③「おひるねこねこ」
 作詩/高橋 友夫(東京都北区)
 作曲/山口 栄(東京都西東京市)
 歌唱/小川景司
- ④「夕立」
 作詩/三平麻里衣(東京都町田市)
 作曲/三平 典子(東京都町田市)
 歌唱/稲村なおこ
- ⑤「めひかりキラリ」
 作詩・作曲/星 知央(福島県福島市)
 編曲/西澤 健治
 歌唱/小川 景司

童謡「作詩・作曲コンクール」 入賞者のみなさん



右から 三平麻里衣さん、三平典子さん、鳴澤さん、
星さん、高橋さん、香月さん

最優秀賞

P.23 楽譜・歌詩掲載

めひかりキラリ

作詩・作曲/星 知央

受賞の瞬間のお気持ちは？
 信じられません。頭が真っ白になりました。うれしいです。

歌詩はどのようなイメージで書かれましたか？

以前に訪れたことのあるアクアマリンふくしまや父がよくいく広野町海浜公園を頭に思い浮かべながら浜通りをイメージして歌詩をつくりました。

コンクールに応募したきっかけは？

たまたま勤めている中学校に作品募集のチラシが届きましてやってみようと思い挑戦しました。



佳作

ほら 見てごらん

作詩/香月シズヨ

作曲/香月 修

受賞の喜びをひとこと(香月 修)

受賞に驚いています。母が長野に住んでいて詩をいくつか作ってきてくれました。親と子、家族の大切さを書いたこの詩が気に入り作曲しました。私より母のほうが入選を喜びました。それだけで親孝行になったのかなと。他の作品もすばらしくて音楽祭が楽しかったです。



佳作

夕立

作詩/三平麻里衣

作曲/三平 典子

受賞の喜びをひとこと(三平典子)

5作品の中に選ばただけで光栄です。親子で初めて作詩・作曲のコンビを組みました。それが、本当に記念すべき作品になってうれしいですし幸せに感じます。

受賞の喜びをひとこと(三平麻里衣)

初めて、母と作った曲なのでこれから先も二人の中では大事な曲になっていくと思います。広野町にこれが本当に楽しかったです。また機会があれば訪れたいです。



優秀賞

おとうさん

作詩・作曲/鳴澤 純佳

受賞の喜びをひとこと

とにかく信じられません。父が5月に亡くなってその思いを書いてみました。父からのご褒美かなと思っています。娘がJFAアカデミー福島で榎葉町でお世話になっています。たまたま、娘を送っていくときに道の駅ならばで募集を知り、応募しました。娘にも感謝してます。



佳作

おひるねこねこ

作詩/高橋 友夫

作曲/山口 栄

受賞の喜びをひとこと(高橋友夫)

びっくりしています。まさかここまで来れるとは思っていませんでした。ここにこれだけでうれしいです。

